

令和2年度 事業報告書

法人の名称 NPO法人 チームさがみはらプラス

1 事業の成果

令和1年12月4日に開催された総会において決議された本年度の事業計画及び予算に基づいて、相模原市を中心とする地域社会発展の寄与に努めた。
総合スポーツクラブに関する運営事業は、令和2年度もサッカー分野の発展に特化し継続。

ブレッサ相模原では4歳の未就学児から社会人までの健康な男女を対象にしたサッカークラブとしてスポーツを通じた人間育成に従事した。

しかしながら、年度初めより新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、外出自粛やそれによる大幅な活動の自粛、グラウンドの利用制限により、年度間を通して活動自体がなかなか出来ない状況に陥った。

3月～5月には、新規入会予定者、入会したばかりの選手の大半が入会を取り消し、在籍中の選手の中からも退会者が毎月のように出てしまう苦しい1年となった。

またほとんどの公式大会が中止になる中、わずかに開催された公式戦には、3・4年生、4・5年生、5・6年生の3チームが参戦。

創設以来はじめて、特に目だった成績を挙げるができなかった。

反面、17年をかけて研究開発してきたトレーニングメソッド『清澤式ロンド』をYouTube動画にてチャンネルをつくることに成功。

LINEも活用し、自主練習等で各個人をより強力にサポートする『個別レクチャー』という新たなサポートの形を創出することができた。

またこれが、清澤式ロンドの有用性・実用性を試す機会となり、『地域サッカー界でのブランド化を目指す』という分野においては、次年度以降に期待が持てる成果が得られた。

《2022年以降にはサッカーの日本代表選手となれるような人材を創出する》目標に関しては、Jリーグ・SC相模原のジュニアユースチームに選手を送り出すことが出来た。

湘南ベルマーレからもスカウトの目を向けられる選手が1名表れた。

さらにトップ（社会人）チームは、神奈川県3部リーグで最終節まで優勝争いをするなど、目を見張る成長を見せ、TwitterなどのSNSで盛り上がった結果、順調に選手数を伸ばすことが出来た。

イベントの開催に関する事業（地域のお手伝い活動）においては、相模原市の自殺対策強化月間中の幕間CMに協力する形で写真素材を提供するのみに留まった。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 総合スポーツクラブ運営に関する事業

ア ブレッサ相模原運営トップチーム運営事業

- ・内容 社会人サッカーチームの運営
- ・日時 令和2年2月1日～令和3年1月31日
月・水・金／ 19:30～21:30 練習
土・日／ ※時間は随時決定 練習&試合
- ・場所 主に鵜野森中学校グラウンド、神奈川県内
- ・従事者人員 ブレッサ相模原強化部 10人
- ・対象者 10代後半～30代後半までのサッカー選手 所属平均 25人

イ ブレッサ相模原育成カテゴリー運営事業

- ・内容 2022年以降にサッカー日本代表選手を創出することをひとつの目標として定めた、少年サッカークラブ、ジュニアユースクラブの運営

- ・日時 令和2年2月1日～令和3年1月31日
月・水・金／ 16:00～21:30
土・日／ 日中 練習&試合
- ・場所 主に下溝古山グラウンド、市内・県内
- ・従事者人員 夢叶え！HERO 育成プロジェクトメンバー 10人
- ・対象者 4才～12歳までの男女 所属平均 30人

ウ 夏季合宿事業（当期は行っておりません）

エ スクール事業

- ・内容 サッカー教室
- ・日時 令和2年2月1日～令和3年1月31日
毎週木曜日／ 17:00～19:00
- ・場所 大和ゆとりの森中規模スポーツ広場コートD
- ・従事者人員 ブレッサ相模原コーチングスタッフ 1人
- ・対象者 8才～12歳までの小学生 所属平均 8人

合計支出額 3, 225, 062円

② 各種イベントの開催に関する事業

ア 高田橋グラウンド清掃事業（当期は行っておりません）

イ 自殺対策街頭キャンペーン協力事業

- ・内容 1回 15秒間の自殺対策啓発CMを放送
- ・日時 令和2年3月6日～令和2年4月2日
- ・場所 MOVIX 橋本
- ・従事者人員 1人
- ・対象者 相模原市民

合計支出額 0円

③ スポーツと医療の支援に関する事業

当期は行っておりません

(2) その他の事業

① 物品の販売に関する事業
当期は行っておりません

② 自動販売機の設置に関する事業
当期は行っておりません